

科目名称	フィジカルアセスメント	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	45
担当教員	藤原 恵子 岩本 あずさ	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

人体の構造と機能の知識を踏まえて、人間の身体面に焦点をあて健康状態をアセスメントする方法に必要な知識・技術・態度を習得する。フィジカルイグザミネーションとインタビューから「正常」なのか「正常を逸脱した状態」なのかを判断し、看護に結びつけてゆく過程を学ぶ。

【2】 学習目標

1. フィジカルアセスメントの意義を説明することができる。
2. 安全で確実な観察技術を習得することができる。
3. 正常と正常を逸脱した状態を判断する根拠を理解することができる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	ヘルスアセスメント・フィジカルアセスメント・フィジカルイグザミネーションとは何か フィジカルイグザミネーションの方法(問診、触診、聴診、打診)と実施時のポイント	講義
2	身体測定 栄養状態の評価 人体の構造と機能の知識をもとにした外皮・粘膜のアセスメント	講義
3	バイタルサイン ① 意識・体温・呼吸・脈拍・血圧のメカニズム	講義
4	バイタルサイン ② 体温・脈拍・呼吸・血圧の測定	演習
5	バイタルサイン ③ 観察点の整理・アセスメント	演習
6	各系統別フィジカルイグザミネーション 呼吸器系 ①呼吸の仕組みの理解	講義
7	各系統別フィジカルイグザミネーション 呼吸器系 ②フィジカルイグザミネーションの実際	演習
8	各系統別フィジカルイグザミネーション 呼吸器系 ③アセスメントの実際	演習
9	各系統別フィジカルイグザミネーション 循環器系 ①循環の仕組みの理解	講義
10	各系統別フィジカルイグザミネーション 循環器系②フィジカルイグザミネーションの実際	演習
11	各系統別フィジカルイグザミネーション 循環器系③アセスメントの実際	演習
12	各系統別フィジカルイグザミネーション 消化器系 ①消化器の仕組みの理解	講義
13	各系統別フィジカルイグザミネーション 消化器系 ②フィジカルイグザミネーションの実際	演習
14	各系統別フィジカルイグザミネーション 消化器系 ③アセスメントの実際	演習
15	各系統別フィジカルイグザミネーション 運動器・脳神経系・感覚器 ①	講義
16	各系統別フィジカルイグザミネーション 運動器・脳神経系・感覚器 ②	演習
17	各系統別フィジカルイグザミネーション 運動器・脳神経系・感覚器 ③	演習
18	各系統別フィジカルイグザミネーション 乳房・リンパ①乳房・リンパの仕組み	講義
19	各系統別フィジカルイグザミネーション 乳房・リンパ②	演習
20	事例を用いたアセスメント ①	演習
21	事例を用いたアセスメント ②	演習
22	事例を用いたアセスメント ③	演習
23	試験・まとめ	

【5】 評価方法

1. 科目評価は 筆記試験(70%)、単元末確認テスト(20%)、学習への取り組み(10%)で総合的に評価する。
2. 技術習得が不十分と判断された場合は補習を実施する。

【6】 教科書

1. 茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 2 基礎看護技術 I (第 19 版) 医学書院 2026 (電子版)
3. 藤野章子：看護技術ベーシックス (第 2 版) サイオ出版 2017

【7】 参考書

熊谷たまき：看護がみえる Vol.3 フィジカルアセスメント 照林社 2019 他随時紹介する

【8】 受講生へのメッセージ

本科目は臨地実習で必ず実施します。学生同士で協力し合って技術の習得をめざしましょう。また、「正常」なのか「正常を逸脱した状態」なのかを根拠に基づいて判断できるようになるための「知識」「技術」「態度」を習得しましょう。

考える力を身につけるため、すぐに答えを求めずになぜそうなるのか考えてください。あきらめずに取り組みましょう。